

お知らせ

玄海原子力発電所の運転状況等について (平成19年度第1四半期)

平成19年7月26日
九州電力株式会社
玄海原子力発電所

玄海原子力発電所の平成19年度第1四半期の運転状況等について、以下のとおりお知らせします。

1 運転状況

プラント名	定格電気出力	運 転 状 況	発電電力量 (第1四半期)	設備利用率 (第1四半期)	備 考
玄海1号機	55.9万kW	通常運転中 (平成18年11月7日~)	12.6億kWh	103.1%	定格熱出力 一定運転
玄海2号機	55.9万kW	通常運転中 (平成19年5月16日~)	9.7億kWh	79.4%	”
玄海3号機	118万kW	通常運転中 (平成19年4月11日~)	26.2億kWh	101.8%	”
玄海4号機	118万kW	通常運転中 (平成18年12月15日~)	26.0億kWh	101.0%	”

2 トラブル情報

法令及び安全協定に基づく報告事象なし

3 その他

全国の事業者等で情報を共有し、それぞれの保全活動向上に資するため、日本原子力技術協会の原子力施設情報公開ライブラリー（ニューシア）に登録する情報（保全品質情報）

1件（参考資料参照）

以 上

○日本原子力技術協会の原子力施設情報公開ライブラリー（ニューシア）に登録することにより、全国の事業者等で情報を共有し、それぞれの保全活動向上に資する「保全品質情報」の内容は以下のとおりです。

○なお、本事象は、発電所の運転や安全に影響を与えない事象です。

1. 件名：玄海2号機 B格納容器排気ファン用電動機フレームボルト穴の損傷

2. 発生日：平成19年6月8日（通常運転中）

3. 概要

電動機分解点検中、B格納容器排気ファン用電動機のフレームのファン側ブラケット取付ボルト穴2箇所に割れが確認された。

これは、前回電動機分解点検後の組立時のファン側ブラケット取付けの際に、ボルト締付トルクが過大となった結果、ボルト穴での割れ発生に至ったものと推定される。

なお、当該排気ファンは、発電所の定期検査中に使用する設備であるため、発電所の運転や安全に影響を与えるものではない。

4. 対策

- ・フレームを新品に取り替える。
- ・当該電動機を含む電動機分解点検作業要領書について、適切な締付トルク管理を行うよう要領書の見直しを行う。

